

衛研だより

vol.
67

目次

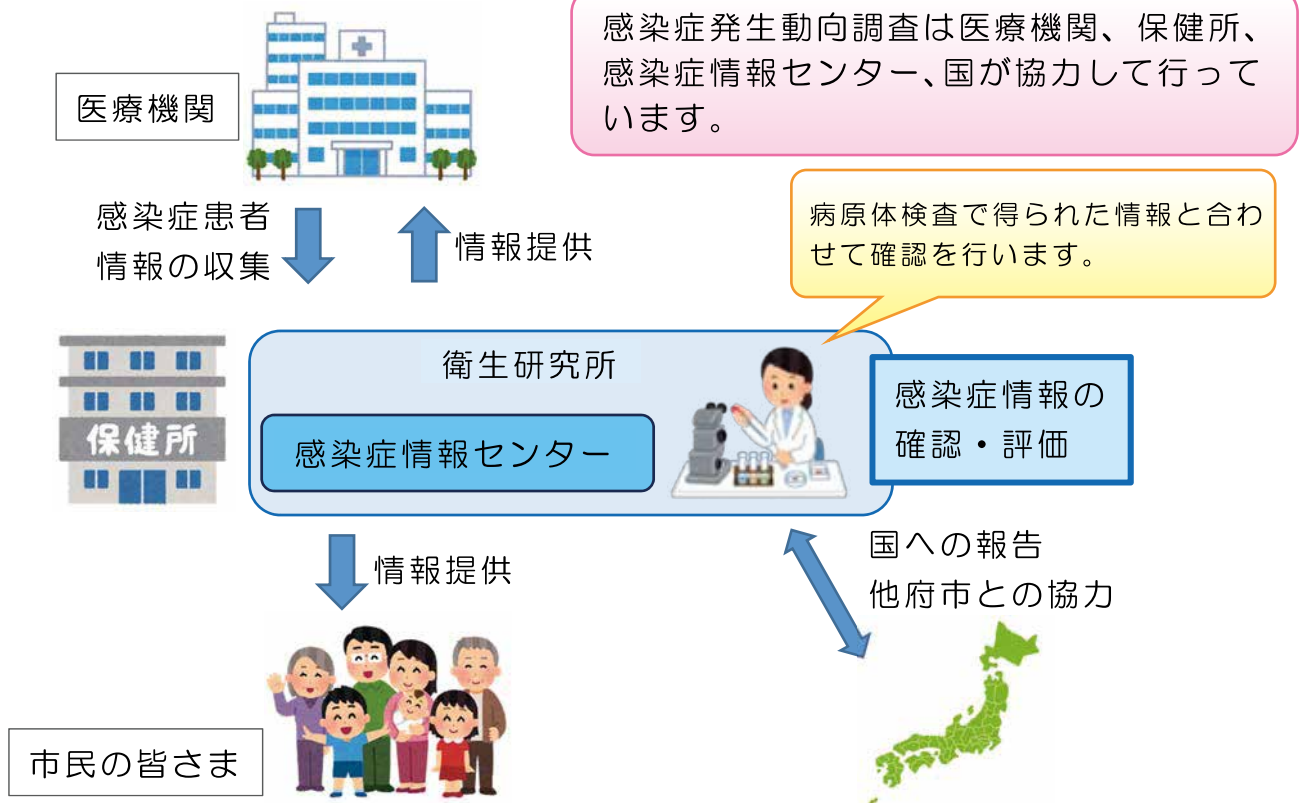
○感染症の流行を知ろう～感染症発生動向調査とは～ P1

感染症の流行を知ろう～感染症発生動向調査とは～

連日、新型コロナウイルス感染症の流行を伝えるニュースが流れています。「パンデミック（世界的大流行）」という言葉もよく耳にします。では、感染症の流行はどのように調べているのでしょうか。

★感染症発生動向調査とは

感染症とはウイルスや細菌などの病原体が体の中に入り、発熱や下痢などの症状を引き起こすことを言います。日本では、全国の感染症の流行状況を調べるため、「**感染症発生動向調査**」を行っています。堺市では、衛生研究所内に堺市感染症情報センターを設置し、市内の医療機関から得られた感染症患者の情報や衛生研究所で調べた病原体の情報を活用し、大阪府・大阪市等と一緒に感染症の発生状況の確認を行っています。



これは感染症のまん延防止のために、感染症法という法律によって行われているものです。調べて分かったことは、ホームページなどで情報を提供しています。

★どんな感染症を調べているの？

感染症発生動向調査では、感染症法で定められた疾患（表 1 参照）が対象となっています。

表 1 対象となる感染症の例（令和 2 年 8 月 1 日現在）

| 感染症の分類 | | 感染症の例 |
|--|---------------|--------------------------------------|
| 全数把握 感染症 医師の診断により必ず届出されるもの 患者の数が多く、全数を把握する必要のないもの | 1 類感染症 | エボラ出血熱など |
| | 2 類感染症 | 結核、SARS（重症急性呼吸器症候群）、MERS（中東呼吸器症候群）など |
| | 3 類感染症 | コレラ、腸管出血性大腸菌感染症など |
| | 4 類感染症 | E 型肝炎、A 型肝炎、デング熱、マラリアなど |
| | 5 類感染症 | 風しん、麻しん、梅毒、百日咳など |
| | 新型インフルエンザ等感染症 | 新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ |
| | 指定感染症 | 新型コロナウイルス感染症 |
| 定点把握感染症 | 5 類感染症 | インフルエンザ、感染性胃腸炎など |

* 感染症ごとの重症へのなりやすさなどから表のように分類されています。
 この他に発熱、発しん等のある原因不明の重症感染症も疑似症として対象となっています。
 なお、5 類感染症は、全数のものと定点のものがあります。

全数把握感染症

全例確認が必要な感染症です

周囲への感染拡大防止を図ることが必要となるものや発生がまれであるため、正確な傾向を知るために全数を把握する必要があるものです。

定点把握感染症

傾向を把握するための調査です

市内の医療機関から定点となる医療機関を選び、そこからの報告を受けて、全体の傾向を把握しています。堺市内では 43 の定点を指定し、ご協力いただいています。

○豆知識○「指定感染症って？」

新型コロナウイルス感染症も令和 2 年 2 月 1 日に指定されています。

- 既に知られている感染症で 1 類～3 類感染症などのように、感染症のまん延が問題となりうる感染症（延長ありで最大 2 年間）。
- 入院措置などの感染拡大への対策が可能になる。
- 過去には SARS、MERS と 2 種類の鳥インフルエンザの 4 つが指定（のちに 2 類感染症に変更）。



★流行しているかどうか、どうやって判断するの？

では、医療機関から集まってきた情報を使って、流行しているかどうか、どのように見ていくのでしょうか。

感染症情報センターでは医療機関から得られた患者情報を集計し、流行等を知らせるサインを出します。毎年冬に流行するインフルエンザを例にみてみましょう。

警報などは、公衆衛生上その流行を早く把握して、注意喚起などの対応をするため設定されています。



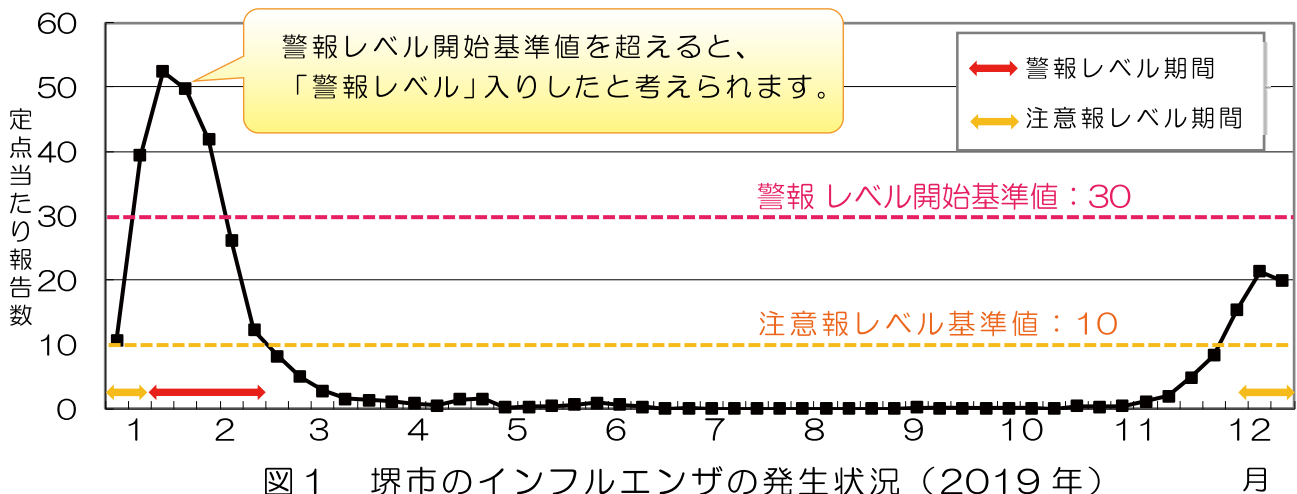
表2 警報・注意報レベル（インフルエンザの場合）

| | 定義 | 基準値（定点当たり報告数） |
|------------|--|----------------------|
| 警報 レベル | 大きな流行の発生・継続が疑われる状態。 | 開始基準値：30 終息基準値：10 |
| 注意報 レベル | 流行の発生前：今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある状態。 流行の発生後：その流行がまだ終わっていない可能性がある状態。 | 10 |

インフルエンザのような定点把握感染症の中には、警報・注意報を出す基準が決まっているものがあります。

一方で、全数把握感染症には明確な基準値はなく、聞き取りした情報などから感染症が広まっているかを確認します。

インフルエンザの場合、表2のような基準値が定められています。図1には堺市の2019年の発生状況を示していますが、1月に警報レベル入りしていたことがわかります。



★病原体の検査について

衛生研究所では、感染症の流行対策の助けとなるように、どんなタイプのウイルスや細菌が感染症を引き起こしていたかを調べる病原体の検査を行っています。この結果を国に報告することも「感染症発生動向調査」の1つです。

例えばインフルエンザの場合、多くの病院ではA型、B型しか分かりませんが、

衛生研究所では、さらに詳しい型まで調べています。その情報はワクチンの有効性の確認といった次の流行を抑えるための情報として活かされています。

他にも、5類全数把握感染症である麻疹（はしか）の場合、遺伝子型などを調べることで感染経路の調査に役立てることが出来ます。また、日本は2015年に「麻疹排除国」になっているので、日本で報告された麻疹のウイルス遺伝子を詳しく調べ、感染経路の調査を行い、海外からの持込事例かなどを確かめることはとても重要です。このような遺伝子を調べる調査は世界中で行われています。

麻疹排除国になるには…適切な調査をして、日本に住みついているウイルスによる麻疹の感染が3年間ないこと。また、そのことが遺伝子型の確認などから分かることが必要です。

日本ではD8という遺伝子型の報告が多くなっています。

ここに病原体検査が活用されています。

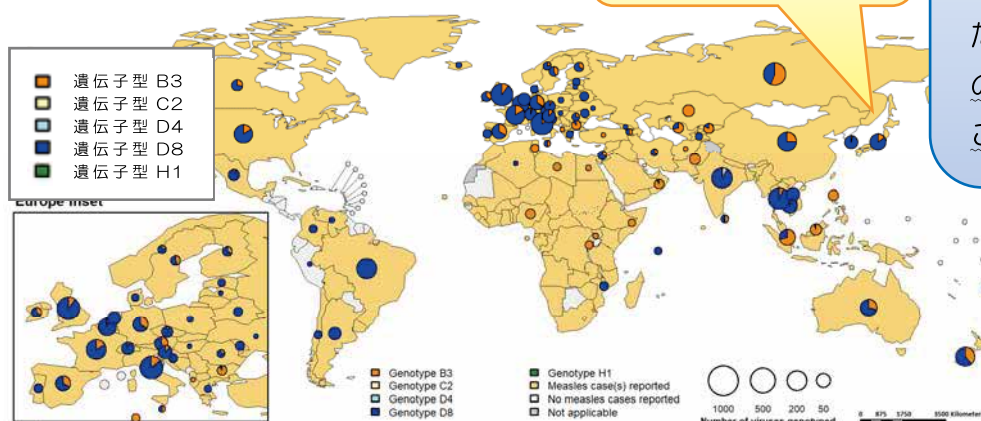


図2 麻疹ウイルス遺伝子型分布状況

(WHO, Measles and Rubella Surveillance Data, Global Measles and Rubella Update July 2020 より)

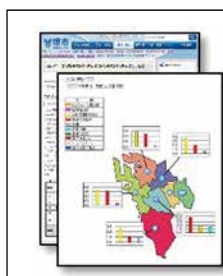
★どこで感染症の情報は得られるの？

堺市では、毎週もしくは毎月、市内の感染症の発生状況をホームページ内で公開しています。

他にも日本全体の情報が知りたいときは、国立感染症研究所のホームページで確認ができます。ぜひ一度利用してみてください。

ニュースでは取り上げられていない感染症の流行も知ることができます。

覗いてみてくださいね。



堺市感染症情報センターでは、堺市内の感染症発生状況の情報提供を行っています。最新情報はこちらでご確認ください。

http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/eiken/id_db/eiken.html



(企画調整担当 木村)

発行者 堺市衛生研究所長 山本 憲 〒590-0953 大阪府堺市堺区甲斐町東3-2-8
 編集委員長 企画調整担当 江渡 亜紀 TEL 072(238)1848 FAX 072(227)9991
 E-mail eiken@city.sakai.lg.jp

「衛研だより」では、みなさまのご意見、ご感想をお待ちしております。

配架資料番号 1-H2-20-0122